

テクノロジーに希望

技術によって、私たちの生活は豊かになりました。

技術は人類が、よりよく生きていきたいという希望が込められていて、長い時間をかけて引き継いできたものです。

これからもさまざまな問題を、技術を開発、活用することで解決しながら、より豊かな生活や社会を作り出しているような力を持った子どもたちが、未来へ羽ばたいていくことを期待しています。

開隆堂出版 編集部一同

をのせて

代表著者からのメッセージ



竹野 英敏
広島工科大学教授

2030年には、少子高齢化、情報化、グローバル化がさらに進展するとされています。この教科書は、今まで積み上げられてきたさまざまなものづくりの文化を、地域社会の中で人と関わりながら学ぶことを通して、地域文化に根ざした問題をもものづくりの技術で解決していくことをわらわらしています。

未来の創り手となる子どもたちを育むにふさわしい「知識及び技能」、「思考力、判

断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の視点から学習目標や指導方法、内容構成を整理しました。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業が回りやすいように、生徒の興味・関心に応じた課題学習や発展的な学習などの学習活動を意識して取り入れ、生徒のよい点や進歩の状況を評価し、学習の意義や価値を実感できるように編集しました。

開隆堂「技術分野」教科書の3つのポイント

POINT 1 技術の確かな学びを実現する

- 1 技術の見方・考え方を育てる
- 2 技術で問題を解決する力を育てる
- 3 技術の学力を高める

POINT 2 気になる話題も学びやすく

- 1 プログラミング
- 2 SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて
- 3 地域とつながる
- 4 主体的・対話的で深い学びを実現する
- 5 安全の意識を高める
- 6 興味・関心を引く工夫

POINT 3 すべての生徒が使いやすい教科書へ

- 1 多様な人が学びやすい教科書であるために
- 2 子どもの学びと先生の授業を厚手サポート

表紙に込めた願い

環境との調和を保ちながら、夢や希望が広がっていくような未来をイメージしました。奥には家庭分野の表紙に使われている木を入れ、教科のつながりを意識しています。



畑入 隆夫
元・東京都中央区立
日本橋中学校校長

生徒が本来持っている知的好奇心の自然の流れに沿って学習が展開できるように構成しました。

「なぜだろう?→どのようなくみなのか調べてみよう→実際に作ってみよう→使ってみよう→よりよいものに改善してみたい」この一連の流れ（学習）を通して「技術の見方・考え方」を生徒自身がイメージできるように、「光と影」や「最適解」等

の意味が理解でき、自分の生活や社会をよりよくしていくこうとする態度の育成ができることを願って編集しました。

現場の先生が「この教科書を使ってよかった」と喜んでいただくことを期待しています。



安東 茂樹
京都教育大学名誉教授
芦屋大学特任教授

教科書とは、教室で教師が生徒に指導する際に基本となる教材で、具体的に、技術科教育を「教える、授ける、育む」教授行為と、「知る、考える、できる、そして問題解決に導く」学習行為を支えるものです。新教科書は、これからの時代に向けた魅力満載の内容で、理解しやすいように基礎と応用及び発展と参考を整理して、系統的に構成しています。ガイダンスから内容 A～D のそれぞ

れて、興味を引くタイトルや、分かりやすい内容構成で示し、レイアウトが工夫されています。したがって、問題解決的な学習の展開に適した内容で使いやすい教科書になっています。

これらは一貫して引き継がれてきた教科書づくりの信念で、大人になっても読み返すことができるように書かれています。